

**「北海道内7空港特定運営事業等」に関するシンジケート・ローンへの参加について
～北海道内7空港一体運営事業への資金供給を通じた地域経済活性化への貢献～**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）は、ESG投融資を包含した取組みとして、社会・経済のサステナビリティ（＝持続可能性）に貢献する「サステナビリティ投融資」を推進しています。

その一環として、北海道エアポート株式会社（注1）が行なう「北海道内7空港特定運営事業等」（注2）に関するシンジケート・ローンに参加（参加金額38.5億円）することを決定しましたので、お知らせします。

本事業は、公共施設等運営権の設定もしくは運営指定を受けた北海道エアポート株式会社（注1）が、従来、別々の主体により運営されていた各空港の滑走路等の空港基本施設とビル施設等を一体的に運営するもので、北海道地域の振興・発展を図ることが期待されます。

当社は、引き続きサステナビリティ投融資を通じて、社会・経済の持続的発展に貢献する取組みを推進していきます。

【本件プロジェクト概要】

事業名	北海道内7空港特定運営事業等
事業者	北海道エアポート株式会社
事業内容	北海道内7空港の滑走路、ターミナルビル等の一体運営等
事業期間	2049年10月30日まで（30年間）
本事業のスケジュール（予定）	2019年10月31日 実施契約締結、運営権設定・運営指定 2019年12月19日 融資関連契約調印日 2020年1月15日 道内7空港のビル事業の一体運営開始 2020年6月1日 新千歳空港運営事業開始 2020年10月1日 旭川空港運営事業開始 2021年3月1日 稚内空港、釧路空港、函館空港、帯広空港、女満別空港運営事業開始 2049年10月30日 事業終了予定日（運営権設定日から30年後）

（注1）北海道エアポート株式会社は、北海道空港株式会社を代表企業として、17行社の出資により、2019年8月に設立

（注2）「北海道内7空港特定運営事業等」は、北海道内7空港（新千歳空港、稚内空港、釧路空港、函館空港、旭川空港、帯広空港、女満別空港）の運営を一体的に実施する事業です

以上